

# 第2部

## RESAS マップ

調査・分析の手法と実践

01

人口

POPULATION

# 地域経済分析システム (RESAS) マップ一覧

## 1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

## 2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析

## 3. 産業構造マップ

- <全産業>
  - 3-1-1. 全産業の構造
  - 3-1-2. 稼ぐ力分析
  - 3-1-3. 企業数
  - 3-1-4. 事業所数
  - 3-1-5. 従業者数 (事業所単位)
  - 3-1-6. 付加価値額 (企業単位)
  - 3-1-7. 労働生産性 (企業単位)
- <製造業>
  - 3-2-1. 製造業の構造
  - 3-2-2. 製造業の比較
  - 3-2-3. 製造品出荷額等
- <小売・卸売業>
  - 3-3-1. 商業の構造
  - 3-3-2. 商業の比較
  - 3-3-3. 年間商品販売額
- <農業>
  - 3-4-1. 農業の構造
  - 3-4-2. 農業産出額
  - 3-4-3. 農地分析
  - 3-4-4. 農業者分析

## <林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

## <水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

## <雇用>

- 3-7-1. 一人当たり賃金
- 3-7-2. 有効求人倍率
- 3-7-3. 求人・求職者

## 4. 企業活動マップ

### <企業情報>

- 4-1-1. 表彰・補助金採択
- 4-1-2. 創業比率
- 4-1-3. 黒字赤字企業比率
- 4-1-4. 中小・小規模企業財務比較

### <海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

### <研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

## 5. 消費マップ

- 5-1. 消費の傾向 (POSデータ)
- 5-2. From-to分析 (POSデータ)
- 5-3. 外国人消費の比較 (クレジットカード)
- 5-4. 外国人消費の構造 (クレジットカード)
- 5-5. 外国人消費の比較 (免税取引)
- 5-6. 外国人消費の構造 (免税取引)
- 5-7. キャッシュレス加盟店数 (ポイント還元事業)
- 5-8. キャッシュレス決済データ (ポイント還元事業)

## 6. 観光マップ

- 6-1. 目的地分析
- 6-2. From-to分析 (宿泊者)
- 6-3. 宿泊施設
- 6-4. 外国人訪問分析
- 6-5. 外国人滞在分析
- 6-6. 外国人メッシュ
- 6-7. 外国人入出国空港分析
- 6-8. 外国人移動相関分析

## 7. まちづくりマップ

- 7-1. From-to分析 (滞人口)
- 7-2. 滞人口率
- 7-3. 通勤通学人口
- 7-4. 流動人口メッシュ
- 7-5. 建物利用状況
- 7-6. 事業所立地動向
- 7-7. 不動産取引
- 7-8. 近距離移動時間分析
- 7-9. 国内移動時間分析 (準備中)

## 8. 医療・福祉マップ

- 8-1. 医療需給
- 8-2. 介護需給

## 9. 地方財政マップ

- 9-1. 自治体財政状況の比較
- 9-2. 一人当たり地方税
- 9-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 9-4. 一人当たり固定資産税

### 凡例

- 赤字 : 2021年8月26日データ更新メニュー
- 青字 : 2021年2月12日データ再編メニュー
- \*一部準備中のものあり\*

今回の訪問は  
中世文化遺産の宝庫として知られる河内長野市です。





## 人口に関する分析のご相談

移住・定住を担当する田中です。

移住・定住の促進や子育て支援に取り組んできました。また、交流人口の拡大にも力を入れています。

地域の社会増減に関しては、20歳台を中心に大学進学・就職による若者の移動の実態を把握したいと考えています。

また、地域の自然増減に関しては、出生率や出生数、さらに将来の人口予測などのデータから今後、取り組むべき課題を明らかにしたいと考えています。

人口に関するデータを収集して地域の現状や課題を整理しておきたいと考えていますが、どのようなデータに着目すればよいのでしょうか？

RESASには人口に関する様々なデータが収録されています。

また、RESASの機能を活用して自治体を合算して表示することにより、行政区を超えた連携を検討する際などに役に立ちます。

さて、ご相談の内容ですが、さっそく分析の流れ（次ページ）を参考に、地域の人口に関する現状や課題を整理しましょう。



内閣府RESAS専門委員  
松浦義昭先生

# 地域の人口の把握・人口マップ

地域の人口の現状と課題を整理していきましょう。

分析 1 地域の人口の推移は？

分析 2 地域の人口ピラミッドの変化は？

分析 3 社会増減・自然増減地域 人口が増減する要因は？

分析 4 地域の転入・転出の状況は？

分析 5 大学進学による人口移動は？

分析 6 地域の出生率の状況は？

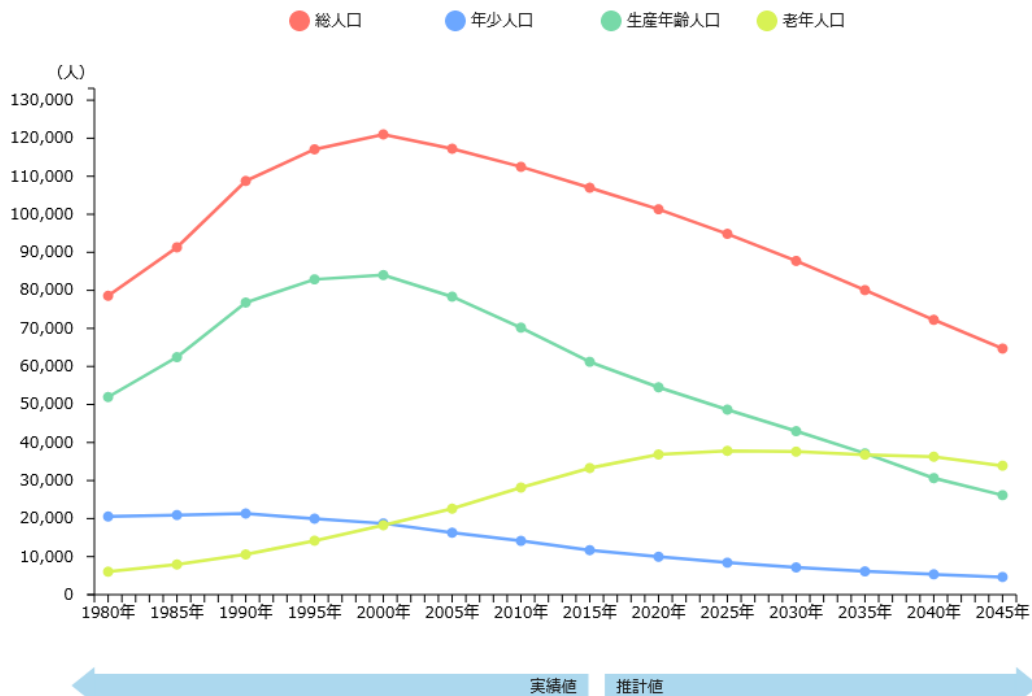
※ 目的に応じて様々な分析方法があります。上記はその一例です。

分析  
視点

地域の人口について、年齢階級別に人口構成や人口推移をグラフで表示して把握することで、将来のインフラ整備の需要や医療・福祉政策等についての検討に活用することができます。

## 人口推移

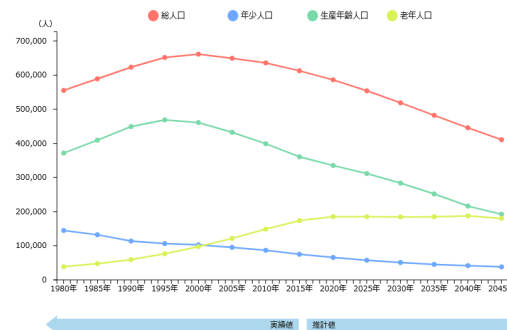
大阪府河内長野市



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

## 人口推移

大阪府河内長野市、大阪府富田林市、大阪府松原市、大阪府羽曳野市、大阪府藤井寺市、大阪府大阪狭山市、大阪府太子町、大阪府河南町、大阪府千早赤阪村



### RESAS Key Point

RESASでは、複数の自治体を合算して人口構成や人口推移をグラフに表示させることができます。上のグラフは、河内長野市とその周辺の市町村を合算したものです（南河内地域）。今後の政策連携の議論にも活用できます。

内閣府RESAS専門委員  
松浦 義昭 先生



- 河内長野市の総人口は2000年（121,008人）をピークに減少傾向に推移している。
- 2005年以降、年少人口と老年人口が逆転。年少人口が減少する一方で、老年人口が増加している。

# 地域の人口ピラミッドからわかることは？

分析  
視点

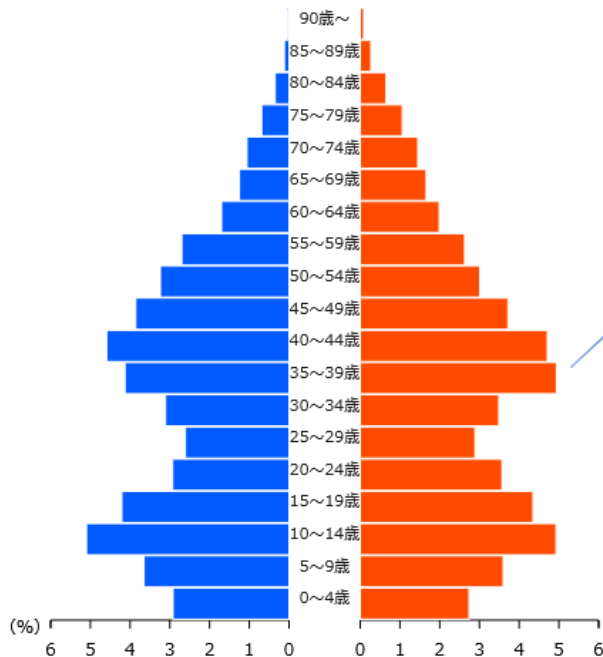
地域の人口ピラミッドから、①地域の将来の労働力供給の予測や②地域に将来必要となる医療・介護体制等のサービスやインフラの需要を予測します。

## 人口ピラミッド

大阪府河内長野市

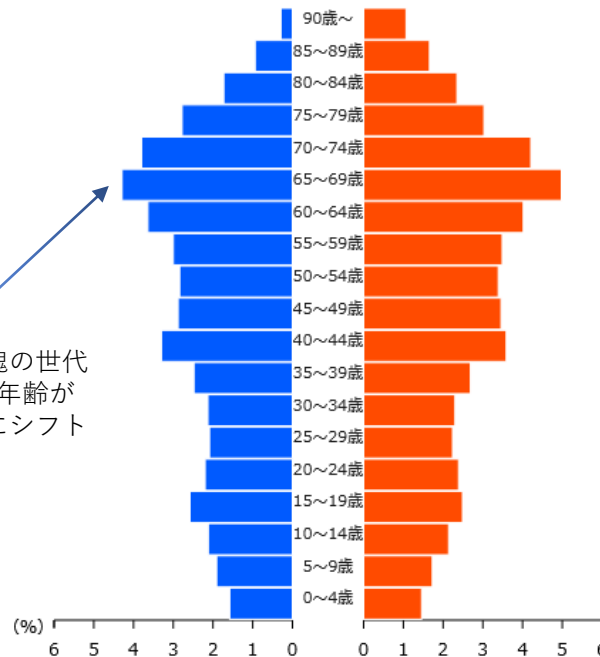
1985年

■ 男性 ■ 女性



2015年

■ 男性 ■ 女性



団塊の世代  
の年齢が  
上にシフト

## 2040年の人口ピラミッド はどのような形だろうか？

RESAS Key Point

どの年齢階層が最も人口が多いでしょうか？  
その年齢階層がこれから必要とする社会インフラやサービスは何でしょうか？

人口が多い団塊の世代および団塊ジュニアに該当する世代は、時代とともにどの年齢階層に達しているのでしょうか？



内閣府RESAS専門委員  
松浦 義昭 先生

1985年

老年人口（65歳以上）：7,932人（8.69%）  
生産年齢人口（15歳～64歳）：62,442人（68.38%）  
年少人口（0歳～14歳）：20,937人（22.93%）

2015年

老年人口（65歳以上）：33,289人（31.11%）  
生産年齢人口（15歳～64歳）：61,214人（57.22%）  
年少人口（0歳～14歳）：11,696人（10.93%）

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

- 河内長野市の1985年から2015年の30年間の人口ピラミッドから、1985年の35歳～39歳の年齢層（団塊の世代）が、2015年には65歳～69歳の年齢層にシフトしていることがわかる。



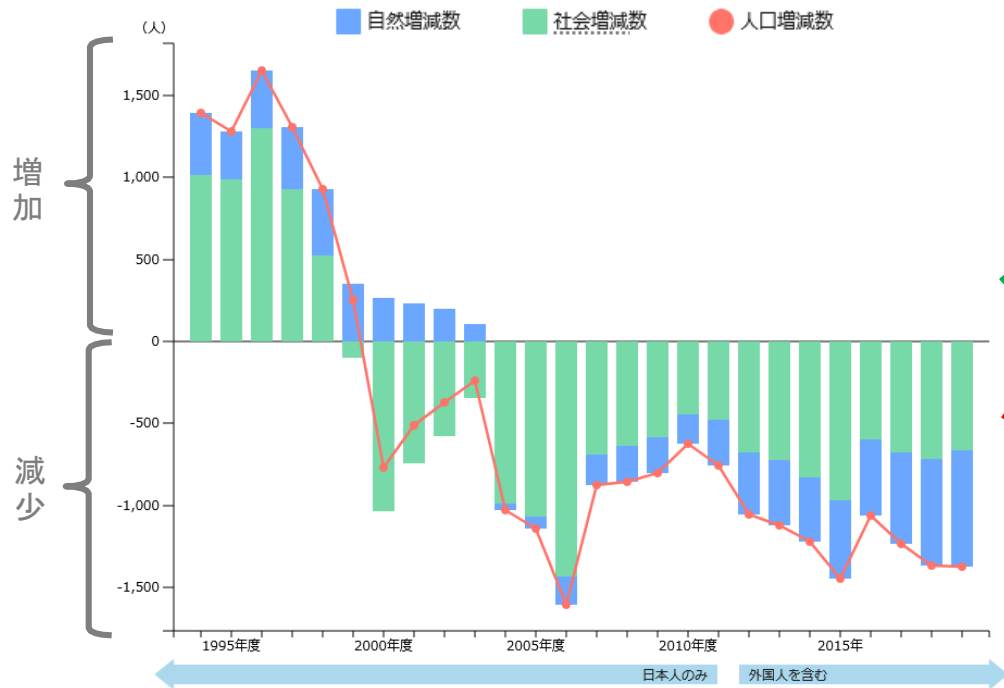
# (概要) 地域の人口が増減する要因は？

分析  
視点

地域の人口増減について、自然増減と社会増減の2つの要因に分解して把握します。今後、自然増減と社会増減のどちらの対策を重視すべきかを検討します。

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

大阪府河内長野市



## 社会増減

地域の住民が地域外に転居（転出）したり、地域外から転居（転入）することなどによる人口の増減のことをいう。  
地域外に出て行く人が多い時は「転出超過」、地域内に入ってくる人が多いときは「転入超過」となる。

## 自然増減

出生と死亡による人口の増減のことをいう。  
出生数が死亡数を上回る場合には「自然増」、逆に、出生数が死亡数を下回る場合には「自然減」となる。

【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」再編加工。

【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

- 2003年には自然増の影響で人口増となったが、以降は自然減となり、人口減に転じている。

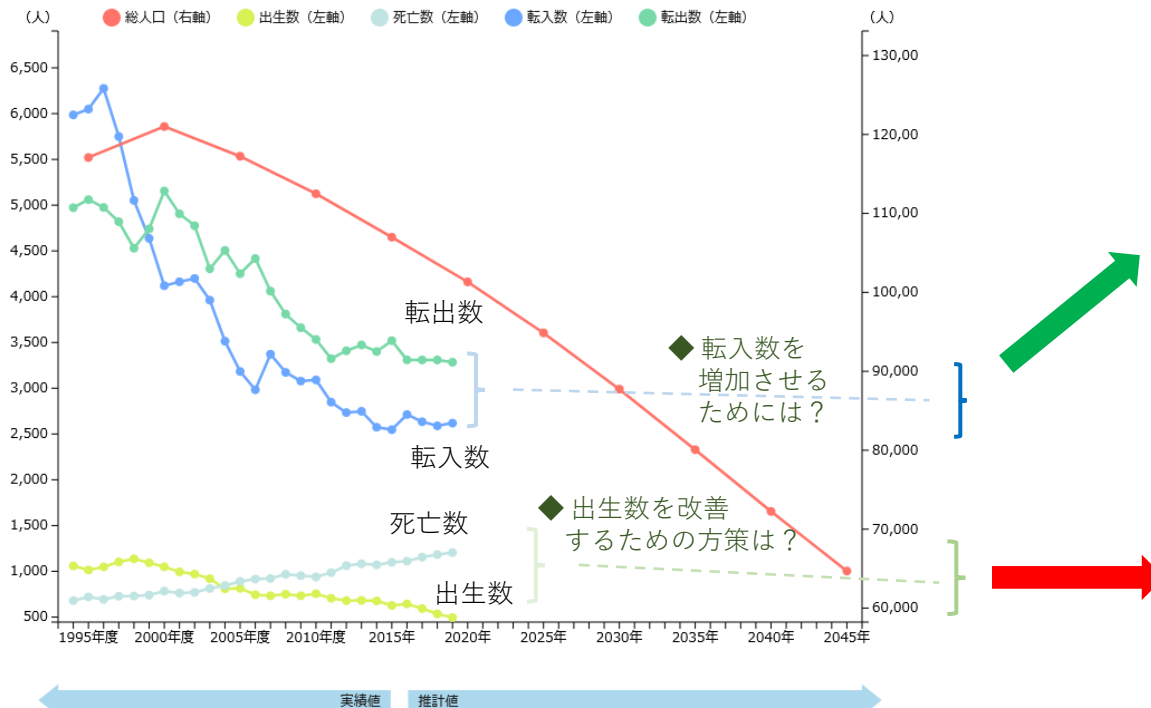
# (詳細) 地域の人口が増減する要因は？

## 分析 視点

地域の人口増減について、自然増減と社会増減の2つの要因に分解して把握します。  
自然増減（出生数、死亡数）と社会増減（転入数、転出数）の変化に着目します。

### 出生数・死亡数 / 転入数・転出数

#### 大阪府河内長野市



### 社会増減

地域の住民が地域外に転居（転出）したり、地域外から転居（転入）することなどによる人口の増減のことをいう。  
地域外に出て行く人が多い時は「転出超過」、地域内に入ってくる人が多いときは「転入超過」となる。

### 自然増減

出生と死亡による人口の増減のことをいう。  
出生数が死亡数を上回る場合には「自然増」、逆に、出生数が死亡数を下回る場合には「自然減」となる。

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

- 河内長野市の人口は2000年（121,008人）をピークに減少。2005年度以降の人口推移を自然増減と社会増減2つの要因でみると「転出数が転入数を上回る社会減」と「出生数が死亡数を下回る自然減」の傾向にある。

# (社会増減) 転入者はどこから来る？ 転出者はどこに向かう？

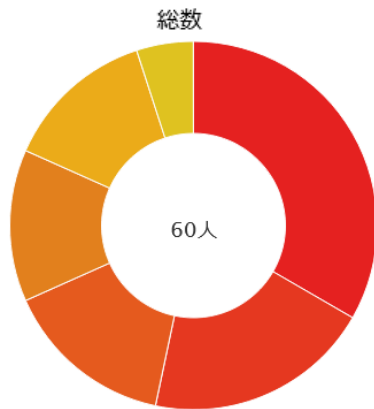
## 分析視点

転出先や転入元を把握し、近隣地域との関係性や転出入の背景や要因を把握します。世代別や性別ごとの要因を捉えて、地域の特性に応じた対策を検討します。

### 大阪府河内長野市 From-to分析 (定住人口)

2020年

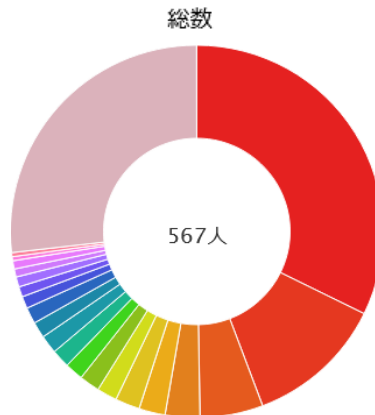
#### 転入超過数内訳



- 1位 和歌山県橋本市 20人 (33.33%)
- 2位 大阪府和泉市 12人 (20.00%)
- 3位 兵庫県尼崎市 9人 (15.00%)
- 4位 大阪府大阪狭山市 8人 (13.33%)
- 4位 大阪府寝屋川市 8人 (13.33%)

【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

#### 転出超過数内訳

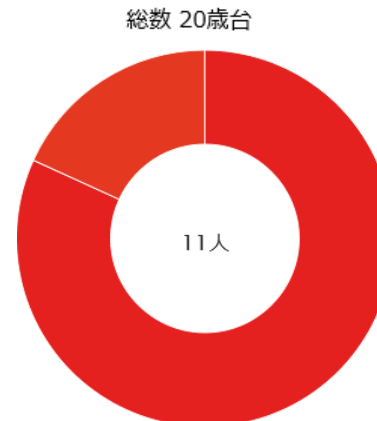


- 1位 大阪府大阪市 183人 (32.28%)
- 2位 大阪府堺市 68人 (11.99%)
- 3位 大阪府羽曳野市 31人 (5.47%)
- 4位 大阪府吹田市 17人 (3.00%)
- 5位 大阪府高槻市 13人 (2.29%)

### 大阪府河内長野市 From-to分析 (定住人口)

2020年

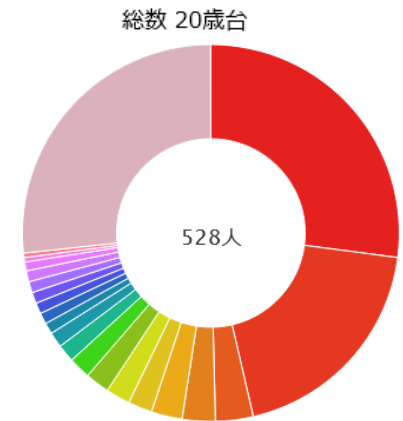
#### 転入超過数内訳



- 1位 和歌山県橋本市 9人 (81.82%)
- 2位 大阪府高槻市 2人 (18.18%)

【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

#### 転出超過数内訳



- 1位 大阪府大阪市 143人 (27.08%)
- 2位 大阪府堺市 102人 (19.32%)
- 3位 京都府京都市 17人 (3.22%)
- 4位 大阪府吹田市 15人 (2.84%)
- 5位 大阪府松原市 14人 (2.65%)

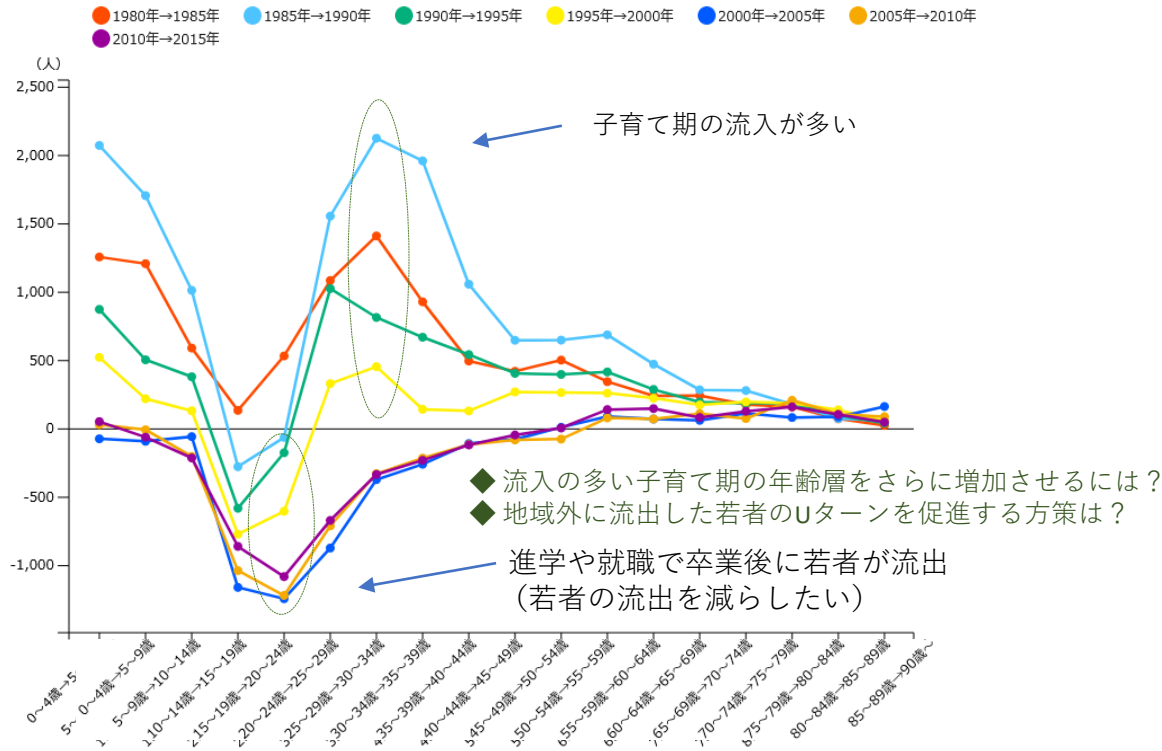
- 総数（左側の2つの円グラフ）、20歳台（右側の2つの円グラフ）ともに、河内長野市への転出入超過は府内の自治体が多いが、転入元は和歌山県橋本市が最も多い。

# (社会増減) 転入や転出が多いのは、どの年齢層？

分析  
視点

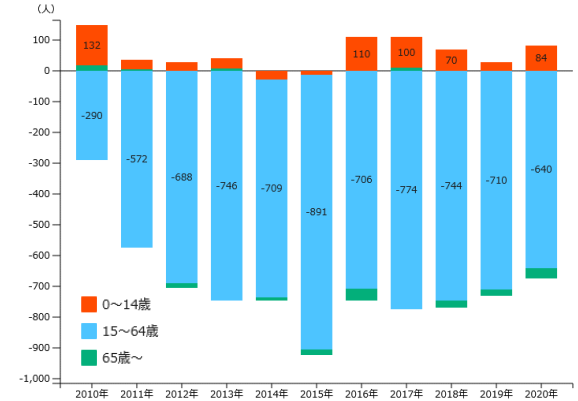
年齢階級別の純移動数を見ることにより、移動時期やその背景にある要因を分析。今後の効果的な人口流入促進策を検討します。

大阪府河内長野市 年齢階級別純移動数の時系列分析



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき  
まち・ひと・しごと創生本部作成

大阪府河内長野市 年齢階級別純移動数



【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

## RESAS Key Point

純移動数 = 転入数 - 転出数です。年齢階級別の移動の特徴をデータで把握したうえで、その要因や原因をヒアリング等により把握します。(例えば、市内の宅地開発によるファミリー層の転入等。)

内閣府RESAS専門委員  
松浦 義昭 先生



- 年齢階層別では、純移動数 (= 転入数 - 転出数) がマイナスなのは「15~19歳→20~24歳」の年齢階級。
- 一方で純移動数がプラスなのは、「25~29歳→30~34歳」の子育て期の年齢階級。

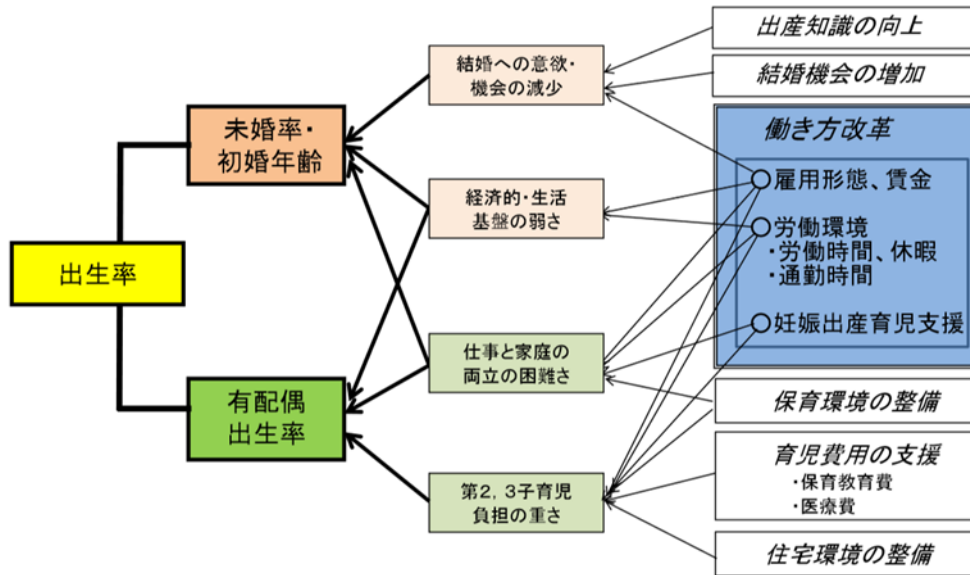


# 地域の出生率の状況は？

## 分析 視点

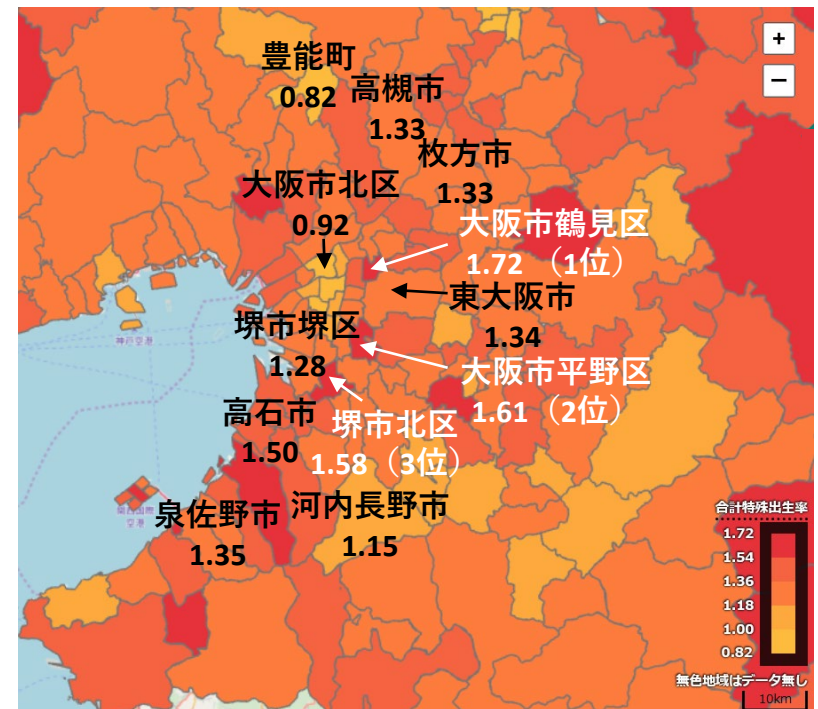
地域の合計特殊出生率の動向を把握し、出生率と関連する指標との関連性を調査したり、出生率を向上させる上で参考となる地域を見つけるなど、出生率向上策の基礎資料として活用します。

## 出生率の決定要因分析



【出典】内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地域少子化対策検証プロジェクト」より抜粋

## 合計特殊出生率（2008～2012年）



【出典】厚生労働省「人口動態調査」

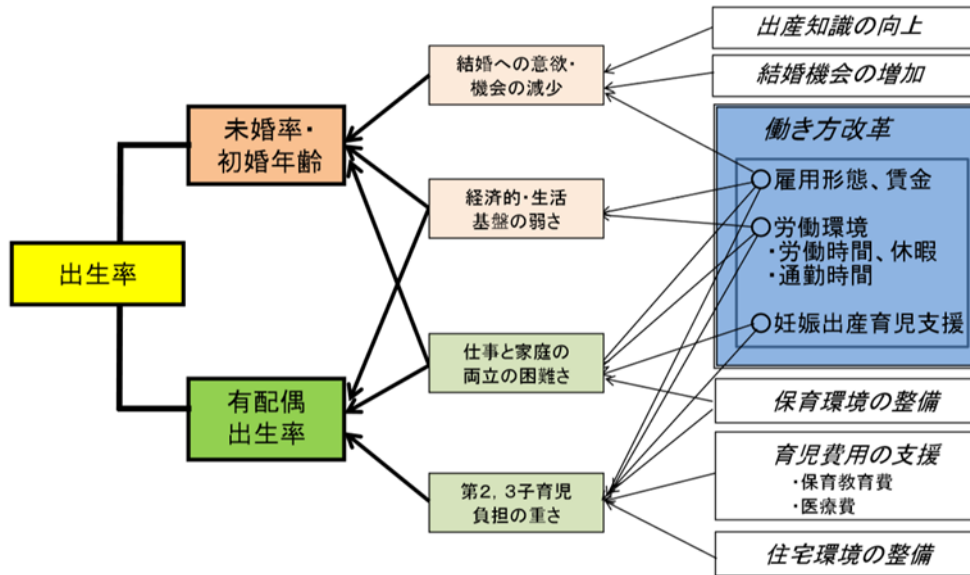
- 大阪府内で2008年から2012年の合計特殊出生率が最も高いのは大阪市鶴見区の1.72で、以下、大阪市平野区（1.61）、堺市北区（1.58）と続いている。

# 地域の出生率の状況は？

## 分析 視点

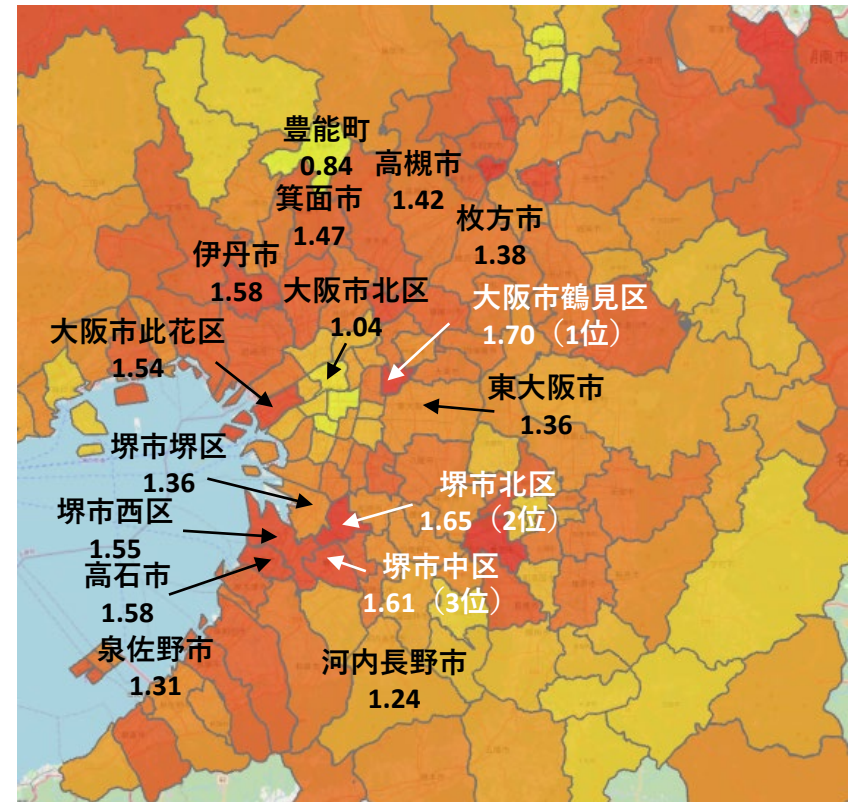
地域の合計特殊出生率の動向を把握し、出生率と関連する指標との関連性を調査したり、出生率を向上させる上で参考となる地域を見つけるなど、出生率向上策の基礎資料として活用します。

## 出生率の決定要因分析



【出典】内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地域少子化対策検証プロジェクト」より抜粋

## 合計特殊出生率（2013～2017年）



【出典】厚生労働省「人口動態調査」

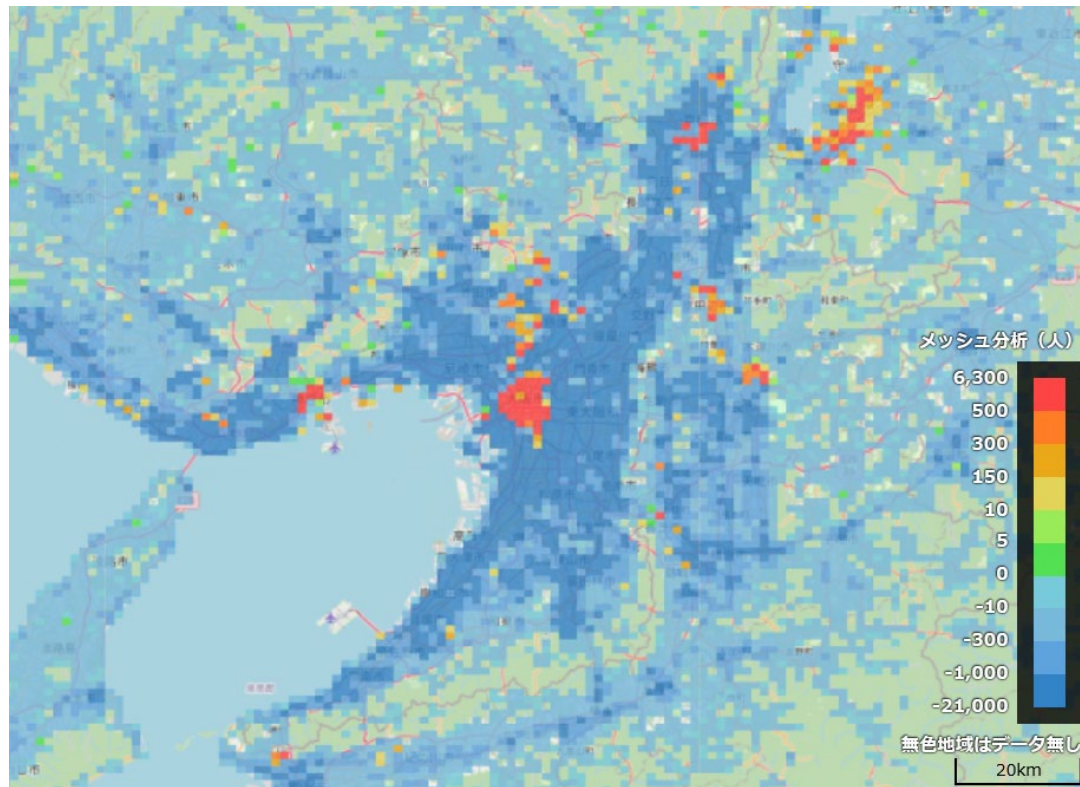
- 大阪府内で2013年から2017年の合計特殊出生率が最も高いのは大阪市鶴見区の1.70で、以下、堺市北区(1.65)、堺市中区(1.61)と続いている。

# 地域における将来の人口分布の予想は？

分析  
視点

1 kmメッシュ単位で地域の人口分布（2015年）及び今後予想される地域の人口分布の変化を（2050年）を総数、増減数、増減率で把握することができます。

## 大阪府の将来人口増減数メッシュ（2050年）



【出典】国土交通省「メッシュ別将来人口推計（平成30年推計）」

### RESAS Key Point

自治体内でも2015年から2050年にかけての人口増減数は異なります。

人口減少に伴う利用者の減少、税収の減少等が予想される中で公共施設の維持管理や公共サービスの水準を確保も課題となっています。

将来の人口分布の変化をメッシュ単位で予想したヒートマップは政策検討の議論にも役立てることができます。



内閣府RESAS専門委員  
松浦義昭先生

- 大阪府の将来人口増減数メッシュで人口増加数の多いエリアと予想されているのは大阪市中心部です。



### 人口減少問題 ～若者の人口は減少、高齢者の人口が増加～ 人口減少によってもたらされる影響は以下の3つが挙げられる

#### ①行政に及ぼす影響

少子高齢化により、税収等の落ち込みが予想されるため、既存の行政サービス（公共施設・公共交通機関・インフラ）の維持が困難になるなどの影響が懸念される。また、年金・医療・介護等の社会保障の支出が増大。若者1人が支える高齢者数も増加するなど、社会保障制度の維持が困難な状況につながることを懸念される。

#### ②産業に及ぼす影響

少子高齢化により、地域の産業を支える生産年齢人口が減少。地域の産業の担い手が不足する事態を招き、地域の経済成長を引き下げることが懸念される。

また、貯蓄を取り崩すと考えられる退職者の増加に伴って貯蓄率は低下。このことが、地域の金融機関等の貸付余力の低下を招き、企業等の投資が抑制され、将来の資本ストックの成長を阻害することが懸念される。

#### ③地域住民に及ぼす影響

地域の人口減少は、一定数の人口の上に成り立つ身近な各種サービス（小売、飲食、娯楽、医療など）が縮小。日常生活が不便となり、このことが更なる人口流出に伴う人口減少を引き起こすといった悪循環につながる。

住民組織の担い手不足による地域の伝統的な行事や地域コミュニティの消滅など、地域の活力を低下させる様々な障害につながることを懸念される。

# 演習 地域の人口 まとめシート

RESAS及びその他の統計データから地域の人口の特徴を調べてシートに整理します。

項目	内容	RESAS 操作
地域の人口の推移は？	人口推移	人口マップ>人口構成>人口推移
地域の人口ピラミッドの変化は？	人口ピラミッド	人口マップ>人口構成>人口ピラミッド
社会増減・自然増減 地域の人口が増減する要因は？	出生数・死亡数 / 転入数・転出数 自然増減・社会増減の推移	人口マップ>人口増減>グラフを表示
地域の転入・転出の状況は？ 大学進学による人口移動は？	From-to分析（定住人口） 年齢階級別純移動数 大学進学の際の純流入の傾向	人口マップ > 人口の社会増減 > From-to（定住人口） 人口マップ>人口の社会増減 > 人口移動（グラフ分析） 人口マップ>新卒者の就職・進学
地域の出生率の状況は？	合計特殊出生率	人口マップ>人口の自然増減

## まとめ 地域の人口の現状・課題

# 02

## 經濟循環

## Economic Circulation

# 地域経済分析システム (RESAS) マップ一覧

## 1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

## 2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析

## 3. 産業構造マップ

- <全産業>
  - 3-1-1. 全産業の構造
  - 3-1-2. 稼ぐ力分析
  - 3-1-3. 企業数
  - 3-1-4. 事業所数
  - 3-1-5. 従業者数 (事業所単位)
  - 3-1-6. 付加価値額 (企業単位)
  - 3-1-7. 労働生産性 (企業単位)
- <製造業>
  - 3-2-1. 製造業の構造
  - 3-2-2. 製造業の比較
  - 3-2-3. 製造品出荷額等
- <小売・卸売業>
  - 3-3-1. 商業の構造
  - 3-3-2. 商業の比較
  - 3-3-3. 年間商品販売額
- <農業>
  - 3-4-1. 農業の構造
  - 3-4-2. 農業産出額
  - 3-4-3. 農地分析
  - 3-4-4. 農業者分析

## <林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

## <水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

## <雇用>

- 3-7-1. 一人当たり賃金
- 3-7-2. 有効求人倍率
- 3-7-3. 求人・求職者

## 4. 企業活動マップ

### <企業情報>

- 4-1-1. 表彰・補助金採択
- 4-1-2. 創業比率
- 4-1-3. 黒字赤字企業比率
- 4-1-4. 中小・小規模企業財務比較

### <海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

### <研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

## 5. 消費マップ

- 5-1. 消費の傾向 (POSデータ)
- 5-2. From-to分析 (POSデータ)
- 5-3. 外国人消費の比較 (クレジットカード)
- 5-4. 外国人消費の構造 (クレジットカード)
- 5-5. 外国人消費の比較 (免税取引)
- 5-6. 外国人消費の構造 (免税取引)
- 5-7. キャッシュレス加盟店数 (ポイント還元事業)
- 5-8. キャッシュレス決済データ (ポイント還元事業)

## 6. 観光マップ

- 6-1. 目的地分析
- 6-2. From-to分析 (宿泊者)
- 6-3. 宿泊施設
- 6-4. 外国人訪問分析
- 6-5. 外国人滞在分析
- 6-6. 外国人メッシュ
- 6-7. 外国人入出国空港分析
- 6-8. 外国人移動相関分析

## 7. まちづくりマップ

- 7-1. From-to分析 (滞人口)
- 7-2. 滞人口率
- 7-3. 通勤通学人口
- 7-4. 流動人口メッシュ
- 7-5. 建物利用状況
- 7-6. 事業所立地動向
- 7-7. 不動産取引
- 7-8. 近距離移動時間分析
- 7-9. 国内移動時間分析 (準備中)

## 8. 医療・福祉マップ

- 8-1. 医療需給
- 8-2. 介護需給

## 9. 地方財政マップ

- 9-1. 自治体財政状況の比較
- 9-2. 一人当たり地方税
- 9-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 9-4. 一人当たり固定資産税

### 凡例

- 赤字 : 2021年8月26日データ更新メニュー
- 青字 : 2021年2月12日データ再編メニュー
- \*一部準備中のものあり\*

今回の訪問は  
大阪府の中核都市で「ひらかたパーク」、「山田池公園」がある枚方市です。





## 産業に関する分析のご相談

松本です。産業政策が担当です。次年度の計画策定に向けて地域の産業の特徴や現状を改めて整理しようと考えています。

特に、地域のお金の流れ（経済循環）を見極めて、地域外からお金を稼げる産業を特定したいと考えています。また、地域内で循環させる仕組みも重要と考えています。

RESASで地域経済循環に関連するデータを収集して分析する際に、どのようなところに着目すればよいでしょうか？

RESASには地域経済循環に関する様々なデータが収録されています。

RESASは、域外からお金を獲得できる産業の特定や地域経済を牽引する地域の核となる産業を把握する際に役に立ちます。

さて、ご相談の内容ですが、さっそく分析の流れ（次ページ）を参考に、地域の経済循環に関する現状や課題を整理しましょう。



内閣府RESAS専門委員  
松浦義昭先生

# 地域のお金の流れを把握・地域経済循環マップ

地域経済循環マップで生産・分配・支出の各段階におけるお金の流れを把握していきましょう。

## 分析 1 生産面の着眼点

付加価値額が最も大きい産業は？ 一人当たりの付加価値額の水準は？

## 分析 2 分配面の着眼点

所得の地域内外への流出入状況は？ 一人当たりの所得の水準は？

## 分析 3 消費面の着眼点

地域の消費を域内で吸収できているのか？  
地域外からの投資を呼び込めているのか？  
地域外からお金を獲得できるのはどの産業？

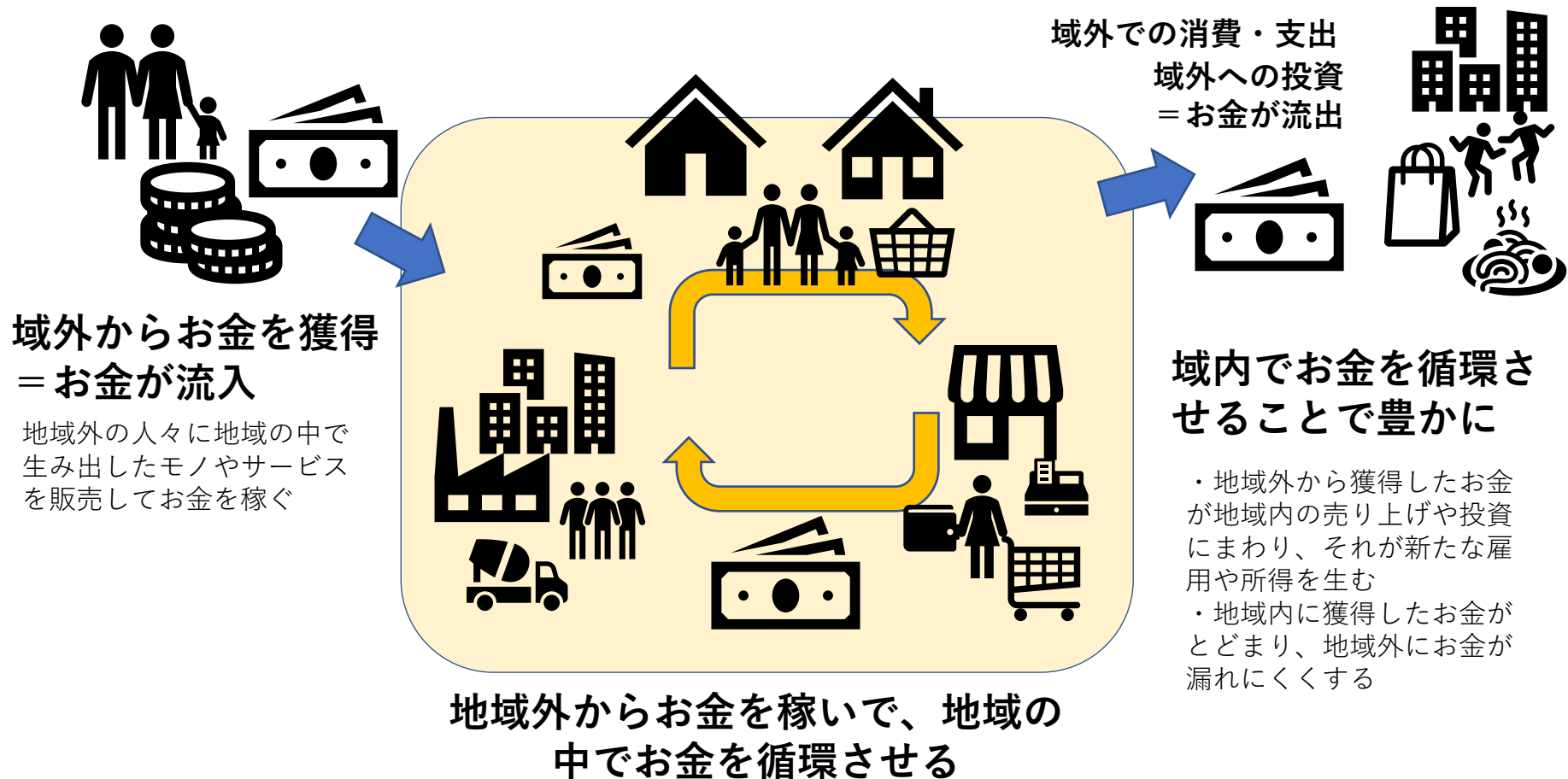
## 分析 4 地域外からお金を稼いでいる産業は、どの産業？

## 分析 5 他の産業の経済活動に及ぼす影響力が強いのは、どの産業？

※ 目的に応じて様々な分析方法があります。上記はその一例です。

## 地域経済循環とは？

①地域内企業の経済活動を通じて**生産**された付加価値は、②労働者や企業の所得として**分配**され、③消費や投資として**支出**されて、再び地域内企業に還流する。このいずれかの過程で**地域外にお金が出た場合、地域経済が縮小する可能性がある**ため、上記の地域経済の循環を把握し、どこに課題があるのかを分析する必要がある。

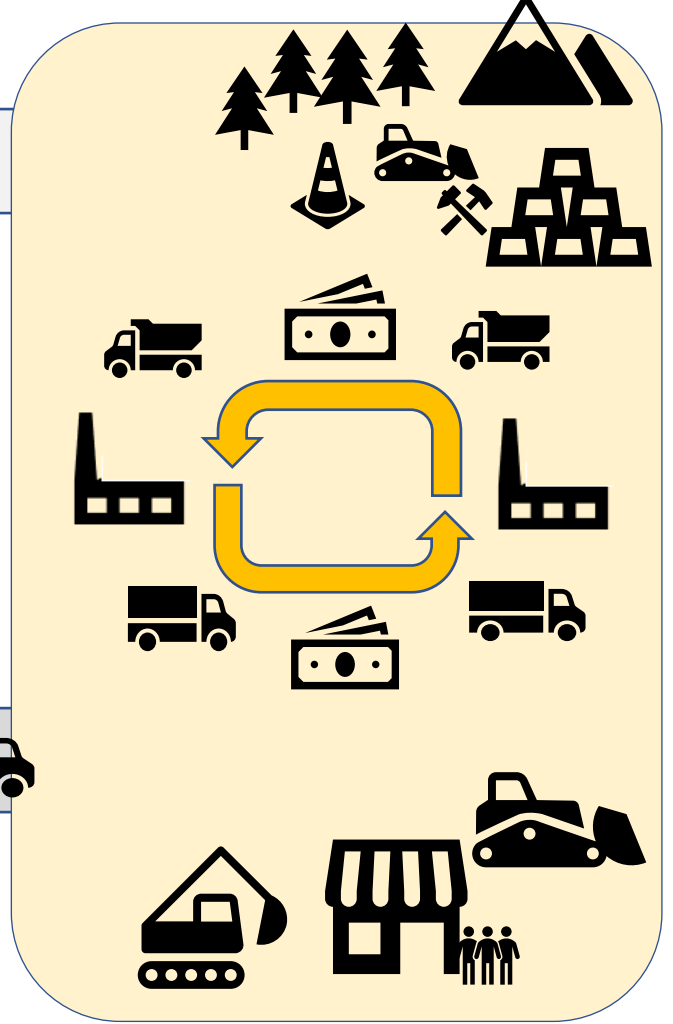
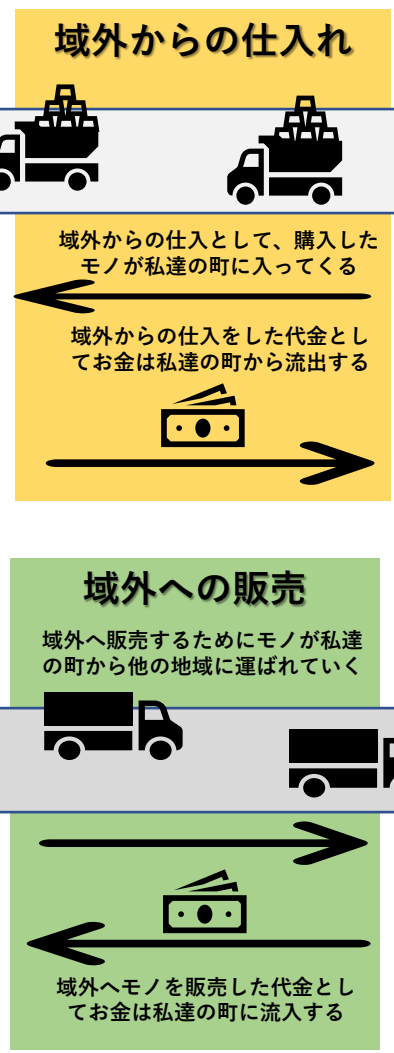




◎自地域内の企業間の取引が活発であれば、地域内にお金をとどめることができる。自地域内の企業間の取引が少ないと、お金が地域内で循環しない。地域外にお金が漏出してしまふ。残念なのは、生産するための中間投入物を地域内で供給できる（可能性がある）のにしていないこと。  
◎地域外からの仕入れに依存している理由は、①そもそも資源がない、②資源はあるものの供給できる企業が自地域にはない、③自地域内に供給企業はあるが技術や納期の問題がある。⇒ その場合は・・・自地域内で供給できる可能性はあるか？自地域に供給できる企業を誘致や育成が可能か？

### わたし達のまち

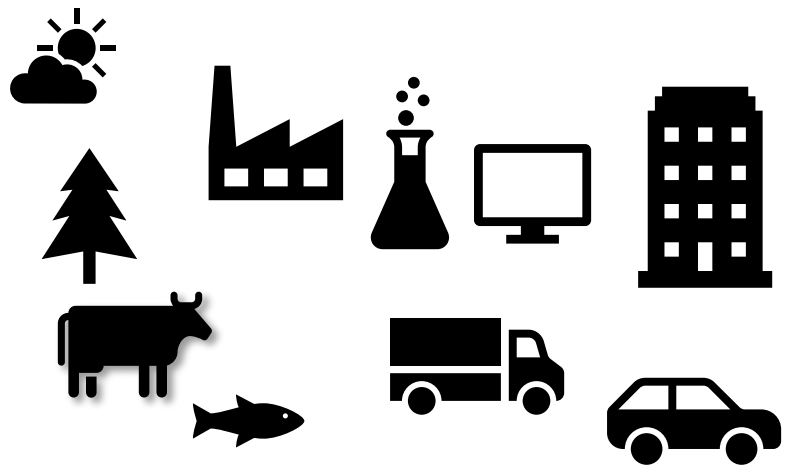
### 他の地域



まちの産業を2つに分類

## 域外市場産業（基盤産業）

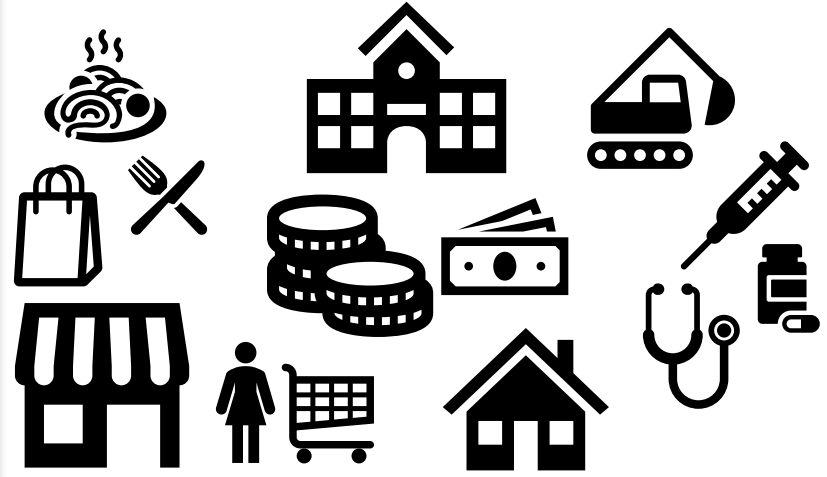
域外市場産業（基盤産業）：地域外を主たる販売市場とした産業。一般に農林漁業・鉱業・製造業・宿泊業・運輸業（特に水運）などが該当する。この域外市場産業（基盤産業）は、地域外からお金を稼げる、経済活性化の主要な担い手となる産業。所得の源泉となることから基盤産業とも定義される。



主たる販売市場は、域外の人や企業のため立地している地域の人口集積や企業集積とあまり関係なく経営が可能。  
(例) 製造業における工場部門、場所（土地、山、海）を必要とする農業、林業、水産業、鉱業。

## 域内市場産業（非基盤産業）

域内市場産業（非基盤産業）：域内を主たる販売市場としている産業で、建設業、小売業、対個人サービス、公共的サービス、公務、金融保険業（支店・営業所）、不動産業などが該当する。基盤産業によって外貨が獲得され、そこから派生需要で生まれる産業であることから非基盤産業とも言われる。



主たる販売市場は、地域の人や企業のため、ある程度の人口集積がなければ成立しない。  
(例) 行政サービス、対個人サービス（学校、コンビニ、郵便局、銀行支店、理容店、飲食店、不動産業、病院）  
(例) 対事業所サービス（会計事務所、広告業、運輸業等）

# 地域の経済循環を俯瞰する 生産・分配・支出の各段階におけるお金の流入・流出状況は？

## ●地域経済循環マップ＞地域経済循環図

地域経済循環率

**77.8%**

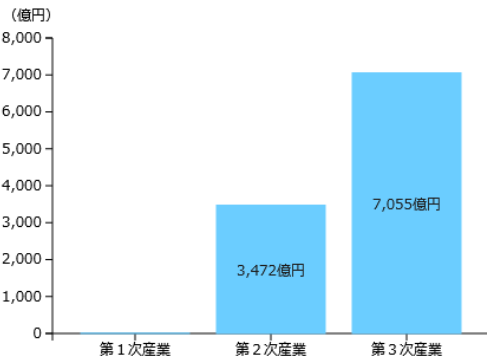
生産（付加価値額）を分配で割った数値。地域経済の自立度を示す。100%を超えると自立度が高い。

生産面の着眼点

- ・付加価値額が最も大きい産業は？
- ・労働生産性は、他地域と比較して優位か？

所得への分配  
**10,534**

### 生産（付加価値額）



従業者 1人当たり付加価値額

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	205万円	1,208万円	746万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	1,145位	308位	881位

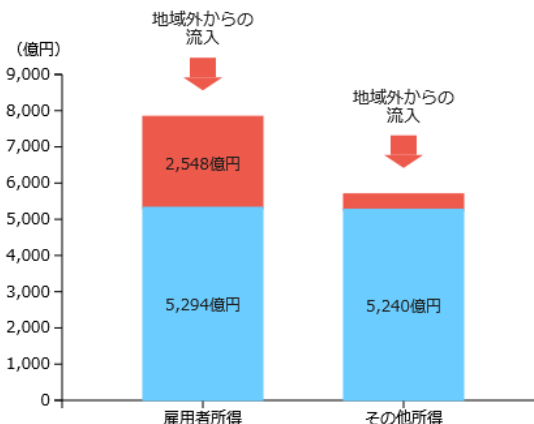
生産面では、「稼ぐ力」を見る。

## 地域経済循環図

2015年

指定地域：大阪府枚方市

### 分配（所得）



労働者が労働の対価として得る賃金や給料等

財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等

支出による生産への還流  
**10,534**

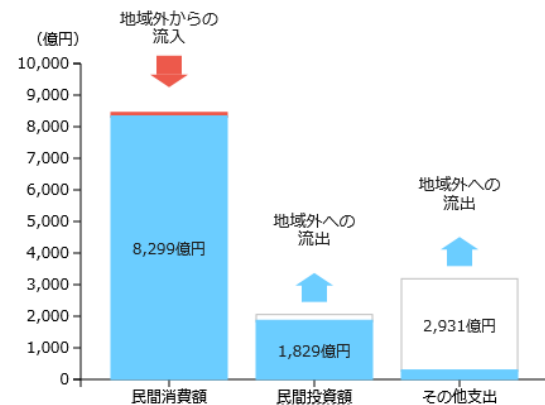
分配面では、雇用者の通勤による所得の流入・流出、および企業の配当や国や県による再分配によるその他の所得の流入・流出を見る。

分配面の着眼点

- ・所得は域外に漏れているのか、流入しているか？
- ・一人当たりの所得水準は、他地域と比較して優位と言えるのか？

所得からの支出  
**13,540**

### 支出



支出面では、域外からの民間消費の流入・流出および民間投資（＝設備投資）の流出・流入を見る。

- ・地域住民の消費を域内で吸収できているのか？
- ・地域外からの投資を呼び込んでいるのか？
- ・地域外からお金を獲得できるのはどの産業か？

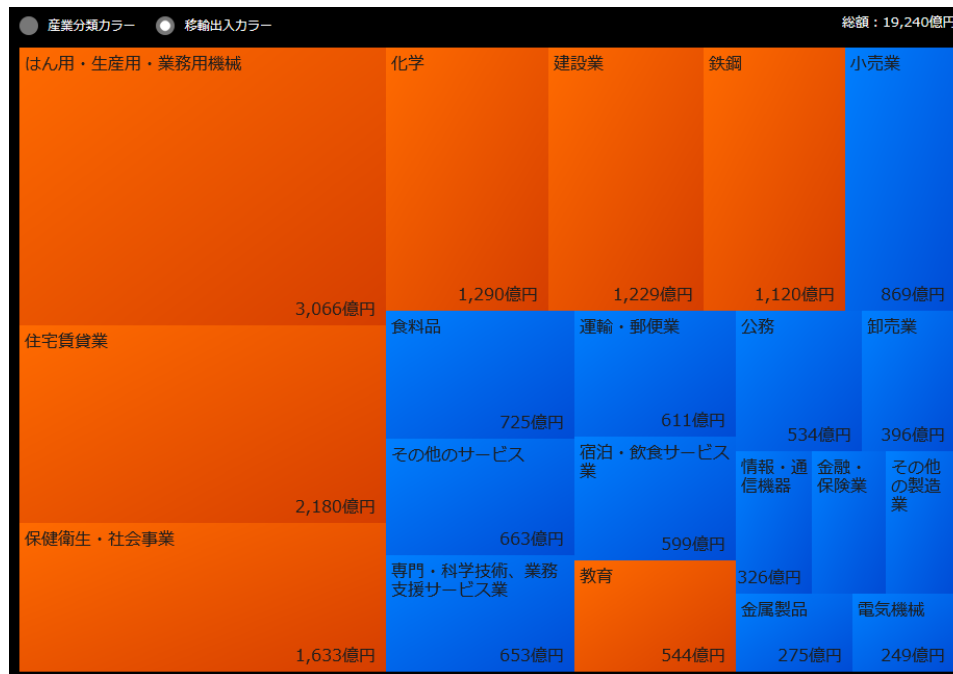
【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」  
(株式会社価値総合研究所 (日本政策投資銀行グループ) 受託作成)  
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

# 地域で生産額の大きな産業は、どの産業？

## 分析 視点

産業別の生産額を見ることで、地域の中で規模の大きな産業を把握します。

生産額（総額）2015年  
大阪府枚方市（中分類）



【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

### RESAS Key Point

生産額とは売上高のことです。左の図では、産業別の生産額の大きさが面積で示されています。生産額が最も大きな産業は「はん用・生産用・業務用機械」です。

なお、左の図は産業別に「赤色」と「青色」の2色に塗られています。赤色の産業は、地域外から所得を獲得できる産業です。例えば、赤色の「一般機械」の産業については、モノやサービスの取引で地域外に支払う金額よりも、地域外から受け取る金額の方が多い、つまり地域外からお金を稼ぐことができている産業です。（移輸入額＜移輸出額）となります。

青色の産業は、モノやサービスの取引で地域外に支払う金額の方が、地域外から受け取る金額よりも多い、つまり地域外にお金が出ている産業です。地域に必要なものを地域外から調達することが多い産業です。（移輸入額＞移輸出額）となります。※次のページで詳しく見ていきましょう。



内閣府RESAS専門委員  
松浦 義昭 先生

- 枚方市で生産額が最も大きな産業は、「はん用・生産用・業務用機械」です。第2位の「住宅賃貸業」も大きな割合を占めています。枚方市では、「保健衛生・社会事業」も地域の経済を大きく支えています。

○地域経済循環マップ＞生産分析＞「表示内容を指定する」で移輸出入収支額を選択、「表示産業を指定する」で大分類のいずれか指定＞グラフを表示

分析  
視点

産業別の移輸出入収支額で、地域外からお金を稼いでいる産業を把握します。

## 移輸出入収支額（産業別）

2015年

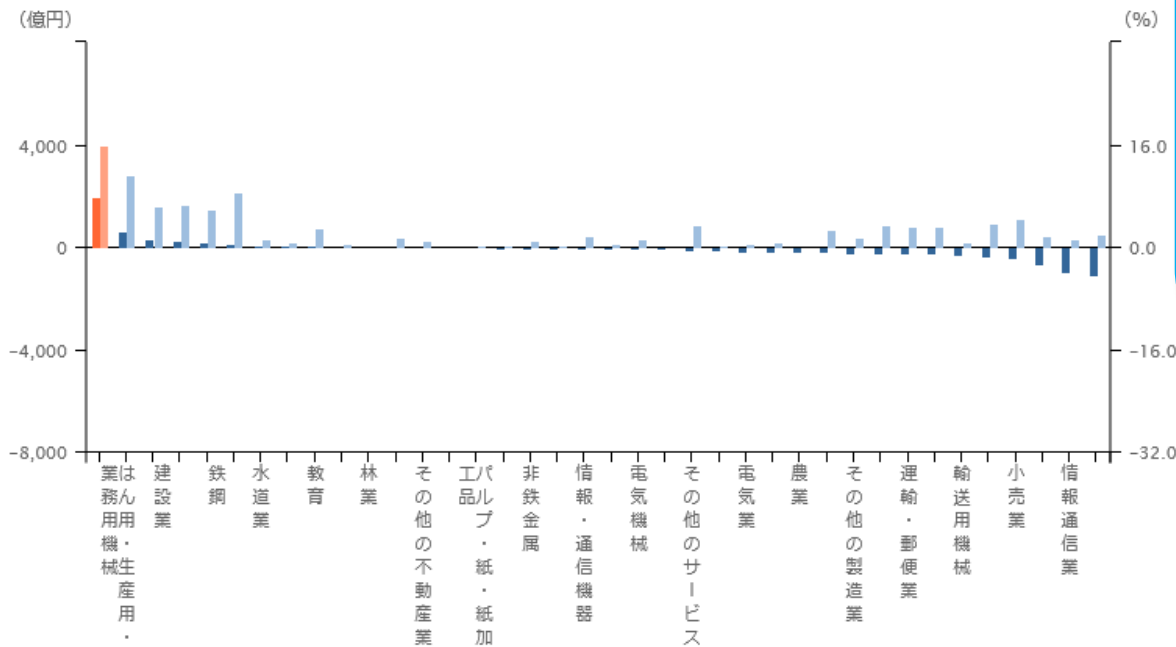
指定地域：大阪府枚方市

■ 移輸出入収支額 ■ 生産額の構成割合

域外から所得を  
獲得している産業



域外に所得が  
流出している産業



### RESAS Key Point

移輸出入収支額とは、当該産業が取引を通して、域外から受け取る金額（移輸出額）と域外に支払う金額（移輸入額）との差です。

移輸出入収支額がプラスの産業は（移輸出額＞移輸入額）。域外から所得を獲得している産業です。

移輸出入収支額がマイナスの産業は（移輸出額＜移輸入額）。域外に所得が流出している産業です。地域外から必要としているものを調達する金額の方が大きい産業です。



内閣府RESAS専門委員  
松浦義昭先生

■ 枚方市の中で移輸出入収支額がプラスの産業は、「はん用・生産用・業務機械」等です。

●操作手順● 地域経済循環マップ>生産分析>「表示内容を指定する」で移輸出入収支額を選択、「表示産業を指定する」で中分類を指定

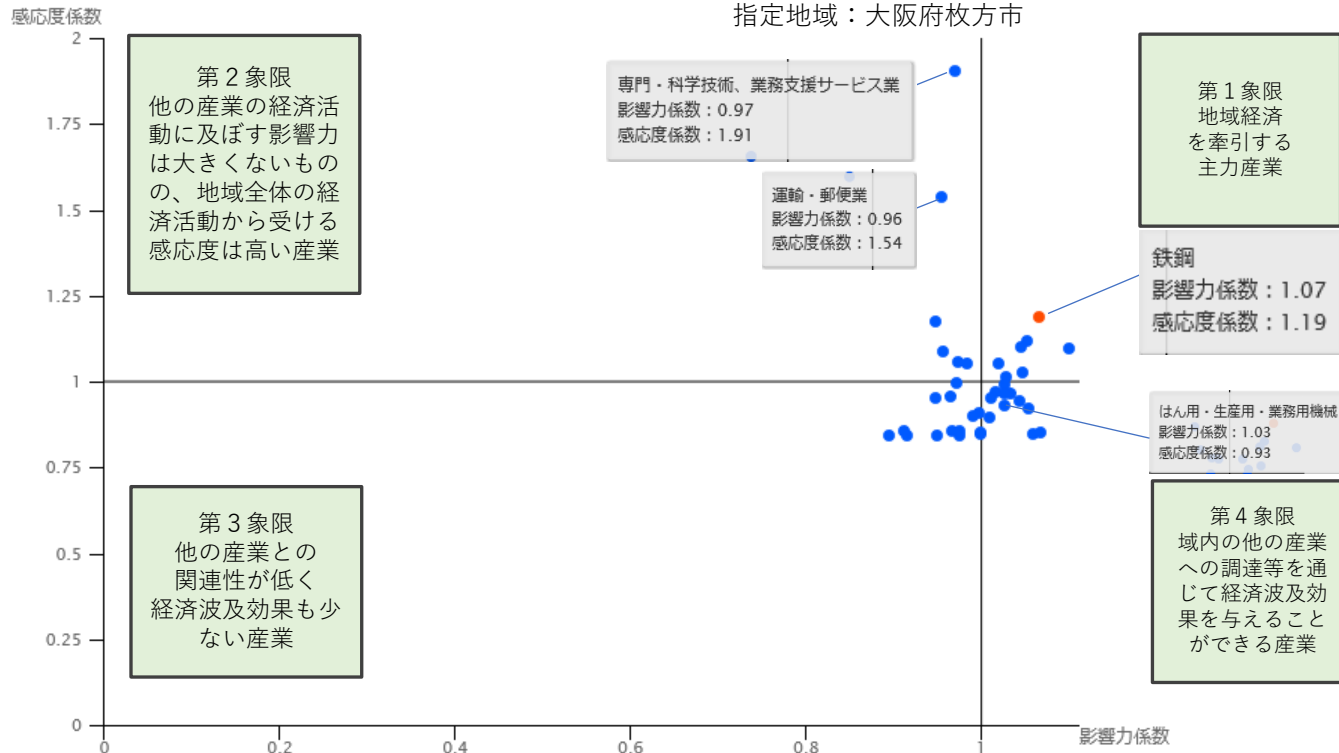
## 他の産業の経済活動に及ぼす影響力が強いのは、どの産業？

分析  
視点

ある産業の経済動向が、他の産業の経済活動に及ぼす影響力（横軸）や、地域全体の経済活動から受ける感応度（縦軸）の散布図を見て、どの産業を振興するかを検討します。

影響力・感応度分析（産業別）  
2015年

指定地域：大阪府枚方市



## RESAS Key Point

影響力係数と感応度係数の双方が高い産業は、地域の核となる、地域経済を牽引する産業です。枚方市では「鉄鋼」等が該当します。こうした域内の他の産業に与える影響力が強い産業を巻き込んだ産業振興策をとることで域内の産業全体の牽引につながる可能性があります。



内閣府RESAS専門委員  
松浦義昭先生

【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）  
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

- 枚方市の中で、他の産業への影響力係数が大きく、地域経済を牽引している主力産業は「鉄鋼」「化学」等です。
- 一方、枚方市の中で地域全体の経済活動から受ける感応度が高い産業は「専門・科学技術、業務支援サービス業」等です。

# 地域経済循環図 影響度・感応度分析における各象限の主な産業と特徴

感応度係数

1.0

## 第2象限

他産業へ与える影響力は小さいが、他産業から受ける感応度は大きい産業です。

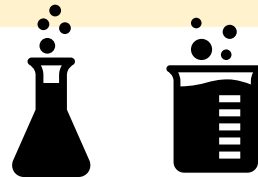
一般的には、商業、サービス業等他産業部門へのサービス提供部門が含まれます。



## 第1象限

他産業へ与える影響力が大きく、同時に他産業から受ける感応度も大きい産業。

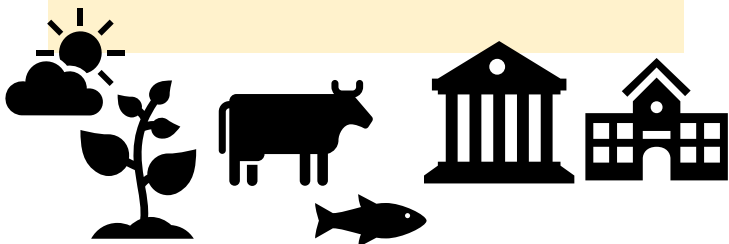
一般的には、基礎資材等の原材料製造部門が該当し、鉄鋼、パルプ・紙・木製品、化学製品等が含まれる。



## 第3象限

他産業へ与える影響と他産業から受ける感応度ともに小さい産業です。

一般的には、農業、電力・ガス、公務等の独立型の産業部門が含まれます。



## 第4象限

他産業へ与える影響力は大きいですが、他産業から受ける感応度は小さい産業です。

一般的には、自動車、電気機械等の最終財の製造部門が含まれます。



影響力係数

1.0

地域経済循環の全体像と、生産・分配・支出の各段階におけるお金の流出・流入の現状を把握します。

- ◎大阪府枚方市の地域経済循環図を見ると、生産面では第3次産業の付加価値額が大きい。また、第2次産業の一人あたりの付加価値額は全国で上位水準にある。
- ◎分配面では、雇用者所得の地域外流入が大きい。枚方同市の住民は域外に通勤して稼いでいる。また、その他所得も地域外からの流入がある。
- ◎支出面では、地域住民の消費や、民間企業の設備投資等、地域産業の移輸出入収支が流出過多になっているなど、地域外への流出が多いことが課題である。

## 大阪府枚方市の事例

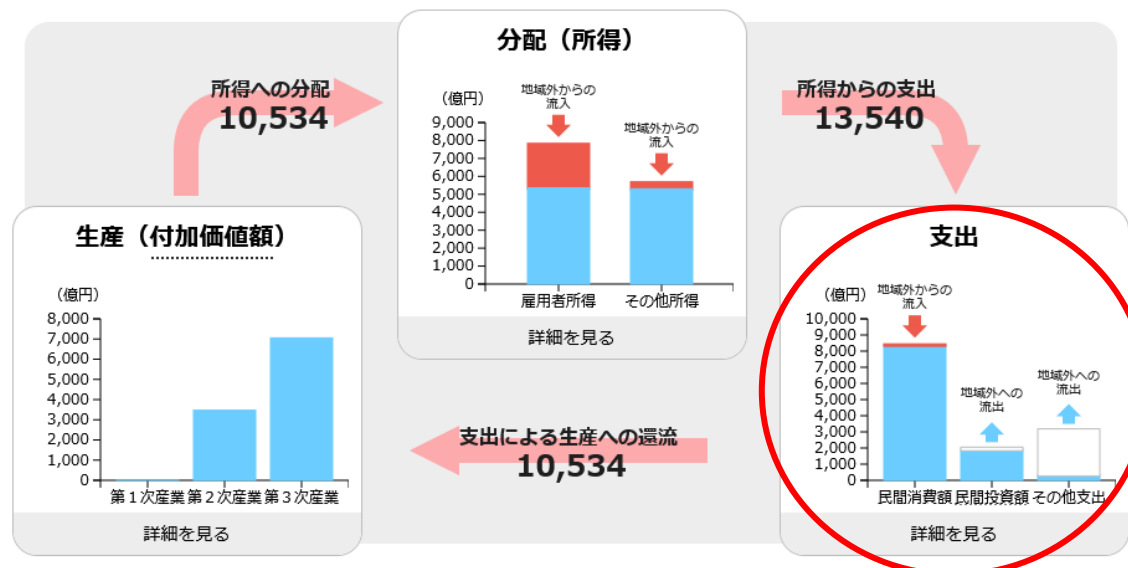
第2次産業の  
労働生産性は  
全国で上位水準

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	205万円	1,208万円	746万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	1,145位	308位	881位

地域経済循環率  
77.8%

地域経済循環図  
2015年

指定地域：大阪府枚方市



【出典】 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)



地域経済循環の全体像と、生産・分配・支出の各段階におけるお金の流出・流入の現状を把握します。例を参考に以下の（ ）内に読み解いた内容を記入します。

- ◎大阪府大阪市の地域経済循環図を見ると、生産面では（ ）
- ◎分配面では、（ ）
- ◎支出面では、（ ）

### 大阪府大阪市の事例

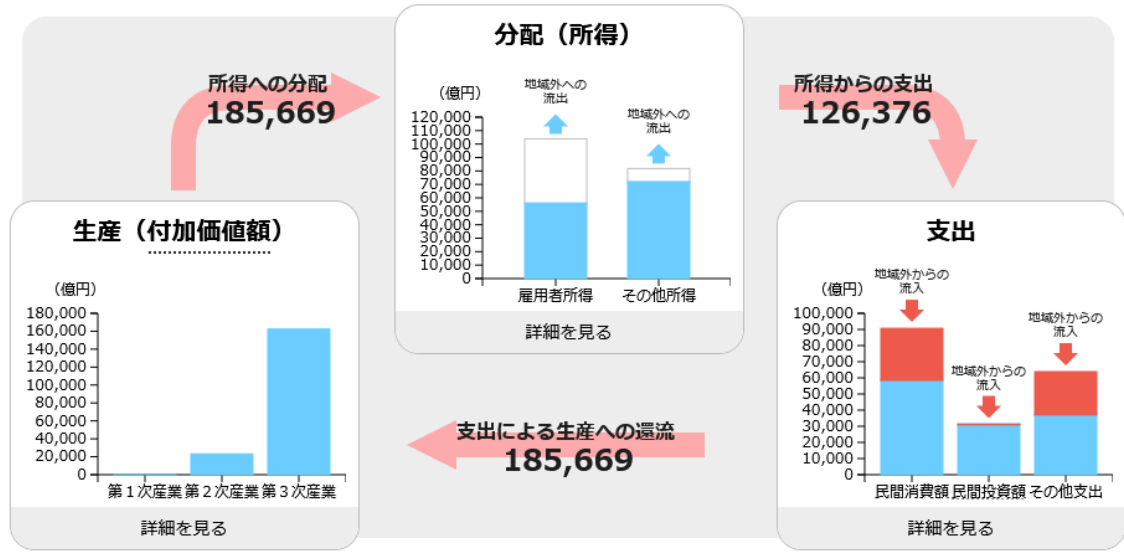
第2次産業の労働生産性は（ ）

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	225万円	567万円	1,068万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	989位	1,372位	75位

地域経済循環率  
**146.9%**

### 地域経済循環図 2015年

指定地域：大阪府大阪市



【出典】 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

# 演習 地域経済循環 まとめシート

RESAS及びその他の統計データから地域の経済循環を調べてシートに整理します。

項目	内容	RESAS 操作
生産面の着眼点 付加価値額が最も大きい産業は？ 一人当たりの付加価値額の水準は？	産業別の付加価値額 一人当たり付加価値額	地域経済循環マップ > 地域経済循環図
分配面の着眼点 所得の地域内外への流出入状況は？ 一人当たりの所得の水準は？	雇用力 稼ぐ力	地域経済循環マップ > 地域経済循環図
消費面の着眼点 地域の消費を域内で吸収できているのか？ 地域外からの投資を呼び込めているのか？ 地域外からお金を獲得できるのはどの産業？	民間消費額 民間投資額 その他支出	地域経済循環マップ > 地域経済循環図
地域外からお金を稼いでいる産業は、 どの産業？	移輸出入収支額	地域経済循環マップ > 生産分析 > 「表示内容を指定する」で 移輸出入収支額を選択、表示 産業を指定する」で中分類を 指定
他の産業の経済活動に及ぼす 影響力が強いのは、どの産業？	影響度・感応度	地域経済循環マップ > 生産分析 > 影響力・感応度分析

## まとめ 地域の地域経済循環の現状・課題